



CMに出演する小屋瀬小6年生の皆さん

小屋瀬小6年生が酪農のCMを制作

小屋瀬小学校の6年生4人が総合的な学習の時間で酪農をテーマにしたCMを制作し、10月12日と17日に撮影が行われました。

この取り組みは、町の酪農について学んだ児童たちが、酪農ヘルパーの仕事や機械化している酪農現場の今の様子を広く知ってもらいたいと企画。12日には地元の酪農家の鈴木智さん、17日には千葉博英さんの協力で撮影を行い、児童自ら出演したほか撮影の補助にも積極的に挑戦しました。作品は岩手朝日テレビの「ふるさとCM大賞2023」に出品されます。

仲間と親睦深めるパークゴルフ納会

10月15日、平庭高原パークゴルフ場で町パークゴルフ協会納会が開催され、37人が参加して今年の活動を締めくくりました。

参加者ははつらつとプレーを楽しみ、4ホールを周りました。競技の結果、入月文彦さん（新町）が100打で1位に輝きました。下天広正会長は「コロナ禍も明け、参加者も戻りつつあるので会員を増やしていきたい。気軽にできるスポーツなので、体力増強や親睦を深めたい人はぜひ参加してほしい」と話し、来年以降の活動へ意欲を見せていました。



雨の中でもプレーを楽しむ参加者

ホームで2得点 葛巻クラブ快勝

サッカー社会人東北リーグ2部北で戦う葛巻クラブは10月15日、総合運動公園でヌ・ペーレ平泉前沢と対戦しました。

葛巻クラブの選手たちは降りしきる雨をもとせず気迫あふれるプレーで果敢に相手ゴールを攻め続け、2対0で快勝しました。2得点を挙げた及川拓人選手は「自分の役割を果たせて良かった。残りの試合もチームの勝利のためにゴールを狙っていきたい」と闘志を燃やしていました。最終戦は11月5日（日）、13時から総合運動公園で開催されます。



相手ゴールに迫る葛巻クラブの選手（青のユニフォーム）



高校生にごみの分別を尋ねる小学生

葛高生と合同で実施 葛巻小クリーン作戦

9月25日、葛巻小学校の全校児童と葛巻高校の2年生合わせて121人が、葛巻小学校やJRバス葛巻駅周辺でクリーン作戦を行いました。

この日は多くの人で賑わったくずまき秋まつりの開催直後で、児童生徒はごみが落ちていることを想定して入念に清掃活動を行い、小学生が高校生にごみの分別を尋ねるなど協力して取り組んでいました。合同での清掃を企画した葛巻高校の大石光さんは「ごみは少なかったが、一人一人の意識を高めてもっと少なくしていきたい」と話していました。

戦没者を悼んで 恒久平和を願う

9月29日、町戦没者追悼式が複合庁舎くずま〜のまき×まきホールで行われました。

同ホールでは初の開催となった追悼式には、戦没者の遺族など約85人が参列。鈴木重男町長は戦没者を悼むとともに「悲惨な戦争を二度と起こさず、平和で平穏な世を願い町民の暮らしの質の向上に努めます」と恒久平和と町の発展を誓いました。その後参列者は一人一人、戦火の犠牲となった親族をしのびながら献花台に菊の花を手向け、戦争のない平和な世の中を願っていました。



献花台に花を手向ける参列者

和気あいあいと 町総体中期競技

第39回町民総合体育大会中期競技および第31回スポーツレクリエーション祭は10月8日、総合運動公園で開催されました。

今回からペタンクは5点先取、グラウンドゴルフは参加人数の制限を緩和するなどルールを一部変更し、より参加しやすくなりました。ペタンクに出場した寺畑圭吾さん（葛巻小6年）は「初めてで真ん中を狙うのが難しかったけど、みんなで楽しくできた」と話し、参加者は和気あいあいと競技に取り組み、スポーツの楽しさを体感していました。



白熱した試合が展開されたペタンク競技